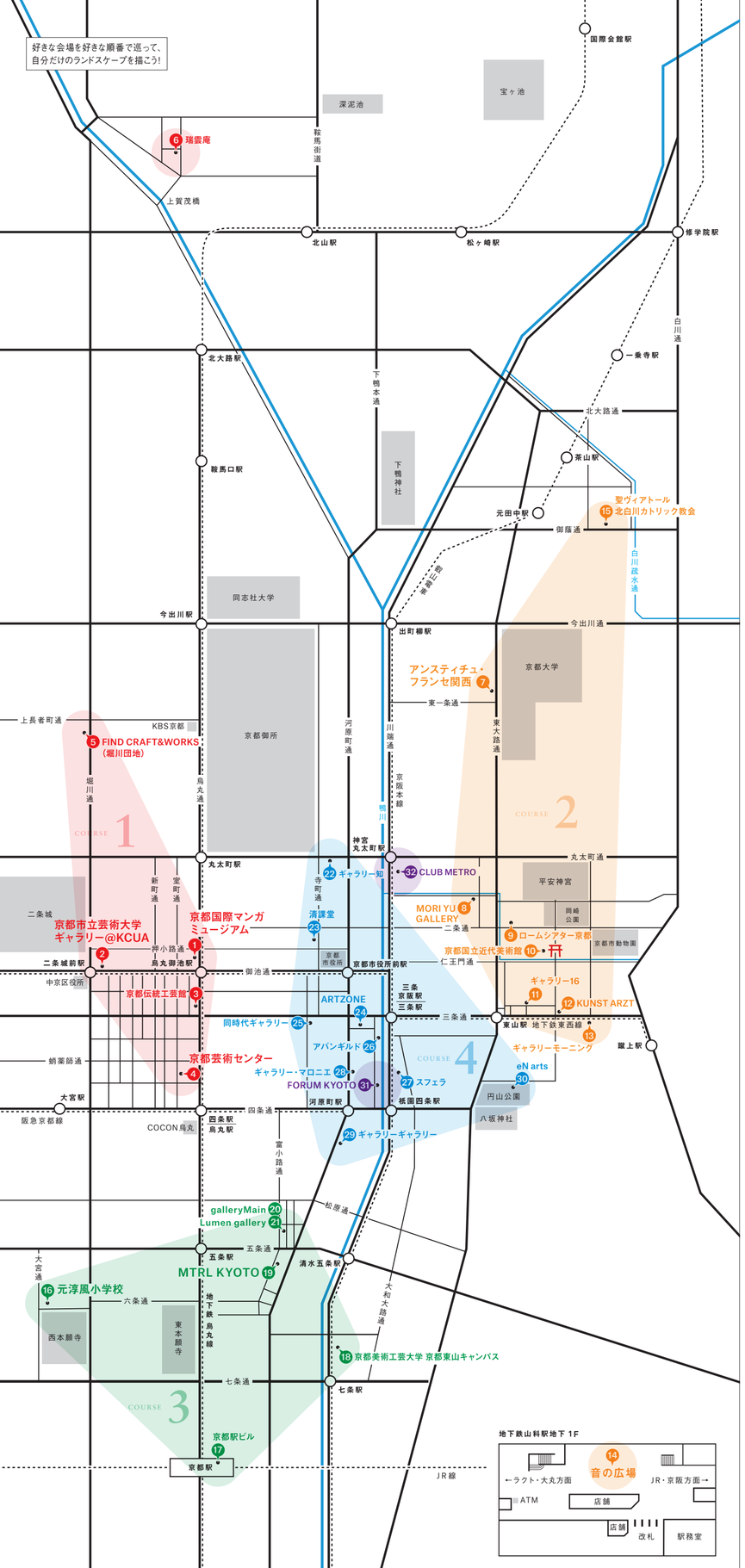


COURSE 1

1 京都国際マンガミュージアム | Kyoto International Manga Museum
18:00–22:00
〒 京都市中京区烏丸通御池上ル
☎ 075-254-7414
🚃 地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅2番出口より烏丸通を北へ徒歩2分／市バス15、51、65「烏丸御池」下車すぐ／京都バス61、62、63「烏丸御池」下車すぐ

2 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA | Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA
11:00–22:00
〒 京都市中京区押油小路町238-1
☎ 075-253-1509
🚃 地下鉄東西線「二条城前」駅2番出口南東へ徒歩約3分／市バス・京都バス「堀川御池」下車すぐ

3 京都伝統工芸館 | Gallery of Kyoto - Traditional Arts & Crafts
12:00–22:00
〒 京都市中京区烏丸通三条上ル
☎ 075-229-1010
🚃 地下鉄烏丸線・東西線「烏丸御池」駅6番出口すぐ

4 京都芸術センター | Kyoto Art Center
10:00–22:00
〒 京都市中京区室町通蛸薬師下ル山伏山町546-2
☎ 075-213-1000
🚃 地下鉄烏丸線「四条」駅、阪急電鉄「烏丸」駅22・24番出口より徒歩5分／市バス3、5、201、203、207「四条烏丸」下車徒歩5分

5 FIND CRAFT & WORKS（堀川団地）
13:00–22:00
〒 京都市上京区西堀川通下長者町上ル奈良物町481 堀川団地内
☎ 075-431-6469（NPO ANEWAL Gallery）
🚃 地下鉄烏丸線「丸太町」駅より徒歩17分／市バス9、12、50、67「堀川下長者町」下車徒歩2分

6 瑞雲庵 | Zuiun-an
15:00–22:00
〒 京都市北区上賀茂南大路町62-1
☎ 075-222-8740
🚃 地下鉄烏丸線「北大路」駅より徒歩18分／京阪電車「出町柳」駅より市バス4「上賀茂神社前」下車徒歩5分

COURSE 2

7 アンスティチュ・フランセ関西 | Institut français du Japon - Kansai / Kyoto
19:30–深夜00:00
〒 京都市左京区吉田泉殿町8
☎ 075-761-2105
🚃 京阪電車「出町柳」駅より徒歩12分／市バス31、65、201、206「京大正門前」下車すぐ／京都バス18「東一条」下車すぐ

8 MORI YU GALLERY
12:00–21:00
〒 京都市左京区聖護院蓮華蔵町4-19
☎ 075-950-5230
🚃 京阪電車「神宮丸太町」駅2番出口より徒歩7分（川端通冷泉通東入南側）／市バス「東山二条」より徒歩2分（東大路通冷泉通西入南側）

9 ロームシアター京都　ローム・スクエア | ROHM Theatre Kyoto
18:30–19:20／20:30–21:20
〒 京都市左京区岡崎最勝寺町13
☎ 075-771-6051
🚃 地下鉄東西線「東山」駅1番出口より徒歩10分／京阪電車「神宮丸太町」駅2番出口より徒歩13分／市バス32、46、京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ／市バス5、100、110「岡崎公園 美術館・平安神宮前」より徒歩5分／市バス31、201、202、203、206「東山二条・岡崎公園口」より徒歩5分

10 京都国立近代美術館 | The National Museum of Modern Art, Kyoto
17:00–21:00
〒 京都市左京区岡崎円勝寺町
☎ 075-761-4111
🚃 市バス5、46、100「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ／地下鉄東西線「東山」駅より徒歩10分

11 ギャラリー16 | galerie16
12:00–22:00
〒 京都市東山区三条通白川橋上ル石泉院町394 3F
☎ 075-751-9238
🚃 地下鉄東西線「東山」駅1番出口北へ徒歩1分／市バス「東山三条」より東へ徒歩2分

12 KUNST ARZT
12:00–22:00
〒 京都市東山区夷町155-7 2F
☎ 090-9697-3786
🚃 地下鉄東西線「東山」駅より徒歩3分／市バス5、46「神宮道」下車すぐ

13 ギャラリーモーニング | Gallery Morning Kyoto
12:00–22:00
〒 京都市東山区三条通白川橋東入4丁目中之町207
☎ 075-771-1213
🚃 地下鉄東西線「蹴上」駅または「東山」駅より徒歩5分

14 地下鉄山科駅構内 音の広場 | Subway Yamashina station OTONOHIROBA
16:00–18:30
〒 京都市山科区安朱南屋敷町
☎ 075-863-5068
🚃 地下鉄東西線「山科」駅改札口を出てすぐ

15 聖ヴィアトール北白川カトリック教会 | St.Viator Kitashirakawa Catholic Church
16:00–18:00
〒 京都市左京区北白川西蔦町22
☎ 075-724-6623　090-5343-0430
🚃 京阪電車「出町柳」駅より徒歩15分／市バス3「北白川小倉町」下車1分／市バス206、31、65「飛鳥井町」より御蔭通を東へ徒歩10分／市バス204、205「北白川別当町」より御蔭通を西へ徒歩4分

COURSE 3

16 元淳風小学校 | Former Junpu Elementary School
12:00–22:00
〒 京都市下京区大宮通花屋町上ル柿本609-1
☎ 090-9829-7029
🚃 JR「丹波口」駅より徒歩13分／阪急電鉄「大宮」駅2B出口より徒歩17分／地下鉄烏丸線「五条」駅4番出口より徒歩16分／市バス6、18、58、71、206、207「島原口」徒歩1分／西日本JRバス高雄・京北線「五条大宮」徒歩4分／京都バス81、84、85、86／京阪バス82「大宮五条」より徒歩5分

17 京都駅ビル　東広場 | KYOTO STATION BUILDING
15:00–20:00
〒 京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町
☎ 075-361-4401（10:00–19:00）
🚃 JR「京都」駅よりすぐ

18 京都美術工芸大学　京都東山キャンパス 1F 鴨川七条ギャラリー | Kyoto University of Arts and Crafts
10:00–22:00
〒 京都市東山区川端通七条上ル（鞘町通正面下ル上堀詰町272）
☎ 075-525-1515
🚃 京阪電車「七条」駅6番出口すぐ／市バス100、206、208「七条京阪前」下車すぐ

19 MTRL KYOTO（マテリアル京都）
16:00–22:00
〒 京都市下京区五条堺小路下ル本塩竈町554
☎ 075-708-2593
🚃 地下鉄烏丸線「五条」駅より徒歩7分／京阪電車「清水五条」駅より徒歩8分／阪急電鉄「河原町」駅より徒歩15分／JR「京都」駅より徒歩20分もしくは市バス4、5、17、205「河原町五条」より徒歩5分

20 galleryMain
13:00–22:30
〒 京都市下京区下鱗形町543-2F
☎ 075-344-1893
🚃 京阪電車「清水五条」駅より徒歩5分／地下鉄烏丸線「五条」駅より徒歩10分／阪急電鉄「河原町」駅より徒歩13分

21 Lumen gallery
19:00–22:00
〒 京都市下京区下鱗形町543-2F
☎ 050-5240-3486
🚃 京阪電車「清水五条」駅より徒歩5分／地下鉄烏丸線「五条」駅より徒歩10分／阪急電鉄「河原町」駅より徒歩13分

COURSE 4

22 ギャラリー知 | GALLERY TOMO
19:00–22:00
〒 京都市中京区寺町通丸太町東入南側青山ビル1F
☎ 075-585-4160
🚃 地下鉄烏丸線「丸太町」駅より徒歩7分／京阪電車「神宮丸太町」駅より徒歩5分／地下鉄東西線「京都市役所前」駅より徒歩7分

23 清課堂 | SEIKADO
10:00–22:00
〒 京都市中京区寺町通二条下ル妙満寺前町462
☎ 075-231-3661
🚃 地下鉄東西線「京都市役所前」駅より徒歩7分（地下街ゼスト御池11番出口より2分）／市バス「京都市役所前」より徒歩5分／市営御池地下駐車場より徒歩5分

24 ARTZONE
12:30–翌朝06:00
〒 京都市中京区河原町三条下ル一筋目東入大黒町44 VOXビル1・2F
☎ 075-212-9676
🚃 京阪電車「三条」駅または地下鉄「京都市役所前」駅から徒歩5分／阪急電鉄「河原町」駅から徒歩10分／市バス3、5「河原町三条」から徒歩1分（駐輪場なし）

25 同時代ギャラリー | DOHJIDAI GALLERY of ART
12:00–22:00
〒 京都市中京区三条通御幸町東入弁慶石町56 1928ビル1F
☎ 075-256-6155
🚃 地下鉄東西線「京都市役所前」駅ゼスト御池8番出口から南へ徒歩4分／阪急電鉄「河原町」駅10番出口から一筋西を北へ徒歩8分／京阪電車「三条」駅6番出口から西へ徒歩6分

26 アバンギルド | UrBANGUILD
19:00–23:00
〒 京都市中京区木屋町三条下ルニュー京都ビル3F
☎ 075-212-1125
🚃 京阪電車「三条」駅6番出口より徒歩3分、阪急電鉄「河原町」駅1番出口より徒歩6分

27 スフェラ | Sfera
18:00–22:00　20:00–22:00
〒 京都市東山区縄手通り新橋上ル西側弁財天町17スフェラ・ビル
☎ 075-532-1105
🚃 京阪電車「三条」駅または「祇園四条」駅より徒歩5分／市バス31、46、86、201、203、207他「四条京阪」下車すぐ

28 ギャラリーマロニエ | Gallery Maronie
12:00–21:00
〒 京都市中京区河原町通四条上ル塩屋町332
☎ 075-211-0117
🚃 阪急電鉄「河原町」駅より徒歩3分／京阪電車「祇園四条」駅より徒歩5分

29 ギャラリーギャラリー | GALLERY GALLERY
12:00–20:00
〒 京都市下京区四条河原町下ル 寿ビル5F
☎ 075-341-1501
🚃 阪急電鉄「河原町」駅より徒歩5分／京阪電車「祇園四条」駅より徒歩7分／市バス「四条河原町」下車徒歩6分

30 eN arts
15:00–21:00
〒 京都市東山区祇園町北側円山公園内八坂神社北側
☎ 075-525-2355
🚃 京阪電車「祇園四条」駅より徒歩10分／阪急電鉄「河原町」駅より徒歩15分／バス 12、31、46、80、100、201、202、203、206、207「祇園」下車徒歩3分

31 FORUM KYOTO
〒 京都市中京区鍋屋町209-2
☎ 075-744-6228

32 CLUB METRO
〒 京都市左京区川端丸太町下ル堤町82　恵美須ビルBF
☎ 075-752-4765

注（1）開場時間は、全て2017年**10月6日（金）ニュイ・ブランシュKYOTO当日の時間**です。通常の開場時間とは異なります。
注（2）駐車場はございません。

ニュイ・ブランシュKYOTO 2017

10月6日（金） 夕刻より
Vendredi 6 octobre 2017
京都市内各所で実施（入場無料）
www.nuitblanche.jp（日本語/English）
#nbkyoto

KYOTO NUIT BLANCHE

パリ白夜祭への架け橋ー現代アートと過ごす夜

© Ayaka Sunuki

ニュイ・ブランシュKYOTO 2017　10月6日（金）

オープニング・セレモニー　10月6日（金）18:30　会場：京都国際マンガミュージアム

「ニュイ・ブランシュ（白夜祭）」は、パリ市が毎秋行う一夜限りの現代アートの祭典です。
2018年にパリ市と友情盟約締結60周年を迎える京都市では、今年も日仏の現代アートを楽しめる「ニュイ・ブランシュKYOTO」を市内各所で開催。パフォーマンスや展示、プロジェクション・マッピングなど、多彩なプログラムを夜間、無料でご覧いただけます。
7度目の開催となる今回は「ランドスケープ×ムーヴメント」をテーマに、複数のコースをご提案します。様々な会場で出会うアートによって、観客それぞれが異なる街の風景を創り出す試みです。
ニュイ・ブランシュKYOTOでしか味わえない、現代アートのプロムナードへようこそ!

Every autumn, Paris stages Nuit Blanche (“a sleepless night”), a one-night festival celebrating contemporary art. Kyoto, a sister city of Paris, holds the companion event “Nuit Blanche Kyoto” in various locations within the city. The Kyoto edition is a “O matsuri” dedicated to contemporary creation and focuses on Japanese and French emerging artists introduced to a wide audience along a journey into Kyoto heritage venues and art spots. Kyoto’s night is lighted up by a varied program of free events including a selection of new trends and experimentations in performing and visual arts. The theme for the seventh edition of the festival is “Landscape, the city in movement”. So, how about an artistic wandering in the vibrant autumn night of the heart of Japan?

「すべては風景である」。建築家ルシアン・クロールの言葉です。京都には多様な風景が広がり、建築遺産や豊かな自然が独自の景色を作り出しています。フランスの景観デザイナー、ジル・クレマンが「巨大な動いている庭」と表現した、京都の街を夜間、散策してみませんか?
2017年のニュイ・ブランシュには、4つのコースを設けています。ミュージアム、文化センター、ギャラリーなど、現代アートを発信する複数の会場を好きな組み合わせて巡りながら、街を再発見してみましょう。今年もパフォーミング・アートからヴィジュアル・アートまで、幅広い企画において、新しいタイプの現代アートと向き合い、体験できるプログラムが組まれています。コンテンポラリー・ダンスを再発見したり、ヌーボー・シルクに驚いたり、特別に創作された音楽に耳を傾けたり、レディ・メイドと茶の湯のコンセプトを比べたり・・・。街の散策と、領域を横断するアートに重きを置く今回のニュイ・ブランシュKYOTO。環境との調和を目指すことで、京都とアートの関係をより深化させる機会となることでしょう。

主催：京都市、アンスティチュ・フランセ関西（旧 関西日仏学館）　共催：京都国際マンガミュージアム、京都芸術センター、京都市立芸術大学、京都市交通局、ヴィラ九条山
特別後援：在日フランス大使館　後援：外務省、在京都フランス総領事館　助成：アンスティチュ・フランセパリ本部、パリ市　協賛：東洋アルミニウム株式会社、株式会社ビュッフェ・クランポン・ジャパン、パリ・ボンピドゥー・センター日本友の会、全日本空輸株式会社　協力：KYOTO CMEX 実行委員会、エムケイ株式会社

ヴィラ九条山はアンスティチュ・フランセ日本の5つの支部の1つで、ベタンクールシュエーラー財団とアンスティチュ・フランセの支援を受けています。

※天候等の事情により、プログラムは予告なく変更される場合があります

京都市印刷物 第293095号 / 発行：京都市総合企画局国際化推進室（平成29年9月）

COURSE 1

1 京都国際マンガミュージアム
｜Kyoto International Manga Museum
18:00–22:00

○ **18:00–18:30　オープニング・アクト：津軽三味線 juki による演奏**
関西・京都中心に各地の音楽フェスティバル・イベント等で演奏活動中。サブウェイパフォーマーとして鳥丸御池駅・京都市役所前駅で週末演奏。日本古来の民謡・伝統音楽だけでどこまで楽しんで頂けるのか?の挑戦をしています。ジャパニーズメロディーラインを楽しんで下さい。

○ **18:30–18:50　オープニング・セレモニー**
門川大作 / 京都市長、ジャン＝マチュー・ボネル / 在京都フランス総領事 アンスティチュ・フランセ関西館長によるご挨拶。

○ **19:00–19:20　ミシェル・ドヌーヴによる「クリスタル・バシェ」ソロライブ**
フランスの彫刻家バシェ兄弟の発明した、彫刻でもあり楽器でもある独自の作品群「音響彫刻」。中でも「クリスタル・バシェ」と呼ばれる楽器のための楽曲制作と、その演奏で知られる作曲家ミシェル・ドヌーヴが、ニュイ・ブランシュのためにフランスから来日!クリスタルの新たな可能性を追求し続ける第一人者による、独特の響きが誘う未知の世界へようこそ。

○ **19:25–19:45　プロジェクション・マッピング**
マチデコ・インターナショナル ー街を映像でデコレートするプロジェクトー
春巻つくね(プロジェクション・マッピングコンペ「岡崎ときあかりアワード2016」受賞作家)による新作映像作品等をマンガミュージアム壁面に上映。
企画製作:楽洛まちぶら会、ART COMPLEX

○ **19:50–20:10　MAKOTOによるライブ**
元祇園甲部の芸妓でJAZZ Singer。芸能はそもそも感謝の表現のひとつ。おおきにの心を歌に乗せて♡

○ **20:15–20:40　プロジェクション・マッピング**
マチデコ・インターナショナルで2009–2016年までに上映した作品から、特に好評だった作品をアンコール上映。
上映アーティスト:大見康裕、上野あきのり＋松本篤史、吉光清隆、神里亜樹雄、phenographics
企画製作:楽洛まちぶら会、ART COMPLEX

○ **20:45–21:05　「クリスタル・バシェ」と尺八&「クリスタル・バシェ」と声(ボイス・パフォーマンス)のライブ**
世界初演となる、岡田加津子 / ミシェル・ドヌーヴ作曲「BYAQYA」。光のような不思議な響きを放つクリスタル・バシェ(ミシェル・ドヌーヴ)と、原野に吹き渡る風のような尺八(泉武夫)によって、沈まない太陽と白い夜があぶり出されます。
「CRISTAL VOICE」は、クリスタル・バシェと声(北村千絵)による即興演奏。今宵きっとあなたも、バシェの音響彫刻の虜になる!

○ **21:10–21:40　プロジェクション・マッピング**
マチデコ・インターナショナルで2009–2016年までに上映した作品から、特に好評だった作品をアンコール上映。
上映アーティスト:窪木亨、江藤ごなお、尾内丞二、江村耕市、高木正勝
企画製作:楽洛まちぶら会、ART COMPLEX

※荒天の場合中止※混雑状況により、入場制限をさせて頂くことがございますので、予め御了承下さい※プログラム、タイムスケジュール等は変更の可能性があります

2 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
｜Kyoto City University of Arts Art Gallery @KCUA
11:00–22:00

身体0ベース運用法「ものの捉しかた」(写真:松見拓也、提供:京都市立芸術大学)

○ **11:00–22:00　身体0ベース運用法「0 GYM」**
展示鑑賞・トレーニング(セルフ)
ものづくりの観点から出発した身体運用法を「身体0ベース運用法」と名付け、そのあり方を探る染色作家安藤隆一郎の理念のもと、@KCUAに「0 GYM」が出現。今春より実施中の美術作家を対象としたパーソナルトレーニングの過程も公開。展示を鑑賞するだけでなく、実際に「身体0ベース運用法」のトレーニングを行うことができます!

関連イベント
○ **18:00–19:30 「0 Training」**
「0 GYM」を使用したトレーニングを行います。鑑賞者も指導を受けながらトレーニングに参加することができます。

○ **19:30–20:00 「具・0」**
座るための椅子や道具を使用したトレーニング。身の回りにある道具を使用して身体操作の拡張を行います。

○ **20:00–20:30 「0 Creation」**
パーソナルトレーニング参加者による公開制作。

○ **夜間　0ベース×CHILL OUT オリジナルカクテル**
日本発のリラクゼーションドリンク「CHILL OUT」を使った「0 GYM」限定カクテルを特別に提供します。
展覧会:9/2–10/15(11:00–19:00)
※月休(祝日の場合は翌火曜日) 10/6は22:00まで

3 京都伝統工芸館｜Gallery of Kyoto - Traditional Arts & Crafts
12:00–22:00

北斎漫画と九里一平 ―時代を超えた二人の絵師の物語―
葛飾北斎が「気の向くまま漫然と描いた画(漫画)」と呼んだ「北斎漫画」。海外からも評価の高いこの作品の原版からの版画および版木と、「科学忍者隊ガッチャマン」や「タイムボカンシリーズ」で知られる九里一平が展開する"現代北斎パロディー"の原画を展示。江戸後期と現代、2人の絵師が時代を越えてコラボレーションします。芸神堂のローリング・ストーンズをフィーチャーした浮世絵木版画も同時展示。
トークセッション(予定):10/6 15:30–17:00 九里一平×川北英(京都美術工芸大学教授)
主催:学校法人 二本松学院　特別協力:株式会社 芸神堂、九里一平
展覧会:10/7–11/28(10:00–18:00)※水休

© 九里一平

4 京都芸術センター｜Kyoto Art Center
10:00–22:00

© Serkan Taycan

○ **15:00 / 18:00 / 20:00（各回約90分）　プロムナード・プランシュ・キョウト**
京都芸術センターとアンスティチュ・フランセ関西の連携で、振付家のアラン・ミシャール(ヴィラ九条山2001年レジデント)と造形作家のマティアス・ボワソンが、9月下旬から京都芸術センターにレジデント・アーティストとして滞在しています。ニュイ・ブランシュでは、都市と身体をテーマに創作を続ける2人が考案した、ユニークな散策を行います。
参加者は2人1組になり、京都芸術センターの付近を歩きます。その際、1人が白くぼやける眼鏡をかけ、もう1人が先導役となります。嗅覚や聴覚、触覚を頼りに街を歩いたとき、どのような景色が浮かぶのでしょう。
対象:8歳以上。2人1組での90分の街歩きが体力的に可能な方。1人参加可。
定員:各回27名、要予約(空きがあれば当日参加可)
※歩きやすい靴・服装でお越しください。

○ **10:00–22:00　ヒッポカムポス・オブ・キョウト(展覧会)**
アラン・ミシャールとマティアス・ボワソンが京都芸術センター滞在中に制作した、街歩きの経験から生まれた作品を展示します。
展覧会:10/6–10/11(10:00–20:00)※10/6は22:00まで

5 FIND CRAFT & WORKS（堀川団地）
13:00–22:00

ソリッド・ステート・ロジック
山角洋平と松延総司による展示。静的状態の論理とはなにか。音でいうところの「持続」あるいは「沈黙」。物でいうところの「静止」あるいは「無」。時間／空間と密接に関わり、楽曲や映画、オブジェやドローイングなどの制作を通して思考を続ける2人の作家を紹介します。8月に京都で行ったライブパフォーマンスに続くコラボレーション。
NPO ANEWAL Gallery企画。
展覧会:9/23–10/9(11:00–17:00)　オープニングイベント:9/23 17:30
※10/6は13:00–22:00※9/25、9/26、10/1、10/2休

SSL
© Yohei Yamakado 2017

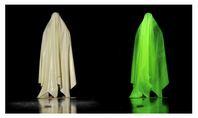
6 瑞雲庵｜Zuiun-an
15:00–22:00

わたしとしぜんと Et la Nature et moi
日本とフランス間の現代美術の交流発展を目的に活動するデュオArt 7ten(アールセッテン)による展示企画。「自然」と「人間の関わり」をテーマとした日仏若手現代美術作家の美術展覧会を由緒正しい日本建築「瑞雲庵」にて開催いたします。この展覧会は、京都を拠点に活動する造形作家、新野洋とフランス、ルーアンを拠点に活動する写真をメディウムとして使用した作品を制作するフランス人作家マーク＝アントワン・ガルニエによる2人展です。
展覧会:9/23–10/30(12:00–18:00)
※火ー金休※10/6は15:00–22:00
助成:西枝財団

©Marc-Antoine Garnier

COURSE 2

7 アンスティチュ・フランセ関西
｜Institut français du Japon - Kansai / Kyoto
19:30–深夜00:00


Mylène Benoit - photo : Delphine Lemiste

Kukangendai / photo by Katayama Tatsuki

© Théo Casciani & Cléo Verstrepen

Kinsei R&D

[ガーデン&3F サロン]
○ **19:30–深夜00:00 「YangTree/陽の樹2017 NBK」(ガーデン)/「Boundary line you've made / できちゃった境界線 2017 NBK」(3F)**
前庭と3階ともに、LED照明と音楽を同期させた、藤本隆行による光のインスタレーションを展示。これらは、2015年に大分と別府で初展示した作品のアップデートバージョンで、「Yang Tree / 陽の樹」の音をmama!milkに、「Boundary line you've made / できちゃった境界線」の音を山／完全版の今井健太郎氏に委嘱した作品。
[ガーデン]
○ **19:30–深夜00:00　京都造形芸術大学マンデイプロジェクト「京造ねぶた」**
[稲畑ホール]
○ **20:00–20:30 / 22:15–22:45　コンテンポラリー・ダンスパフォーマンス「Cold Song」**
振付家ミレーヌ・ブノワ(ヴィラ九条山2017年レジデント)による、燐光についての研究から生まれた造形的なダンス作品。感光性シートの下に身を潜めるダンサーが、観客の目前に現れては消える。視線が捉えるのは変容する様であり、防水布、ビエタ、昆虫、岩、老人、洗礼者ヨハネといったいくつものイメージ。有形と無形、凡俗さと優美さを並置するような、メタモルフォーゼのパフォーマンス。出演:ロマン・カベッロ
※途中入退場不可

○ **21:00–21:45 / 23:15–深夜00:00　空間現代　ライブ**
野口順哉(gt.vo)古谷野慶輔(ba)山田英晶(dr)によるスリーピースバンド。オリジナルの楽曲群をカットアップコラージュ、マッシュアップ、反復などの手法を用いて再構成し演奏します。
[2F会議室]
○ **19:30–深夜00:00　映像上映「Exposer」**
監督:テオ・カシアーニ、クレオ・ヴェルストルペン
野村香子、辻本桂、ジョシュア・ステファンとのコラボレーションで京都府立陶板名画の庭にて撮影。音、言葉、身振りが、それ自体が激しくなっていくまで1つの同じ動きの中で混ざり合い、「人目にさらすこと」の本質を広げ、「視線」の新たな論理へと転化します。
[3F33番教室]
○ **19:30–深夜00:00　金属工芸公募展「いまからまめさら2017」アンスティチュ・フランセ日本賞 受賞作品展**
清課堂主催の公募展における受賞作、佐故龍平「杢目金小皿」を展示。
展覧会:10/6–10/13(10:00–19:00　日曜は15:00まで)※月休

8 MORI YU GALLERY
12:00–21:00

UNDULATIONISM 5
黒田アキ、小柳仁志、ムラギレマナヴ、花岡伸宏、安藤隆一郎、河合政之
展覧会:10/6–10/22(12:00–19:00)
※月・火・祝休 ※10/6は21:00まで

© Manavu Muragishi / Photo by Kenryu Tanaka

9 ロームシアター京都　ローム・スクエア｜ROHM Theatre Kyoto
18:30–19:20 / 20:30–21:20

祝祭のサーカスがやってきた!
遠くから聞こえる、パレードの音…誰でも参加大歓迎!!夜が、世界が、サーカスが、ぐるぐるまわる不思議なパーティ。あなたの扉が開かれる。ようこそ、祝祭のサーカスへ!
ファンタジー＆ロック＆ジプシーな異世界サーカス団は、DIVAみま(音楽的道化師)、メランコリックな愛の精・森田智博(ジャグラー)、元気な愛の精・吉田望(ラート)、音楽家のウサギ・イーガル(現代音楽家)でお届けします。演出は世界的な人気を誇るパフォーマンスカンパニーtoRmanshion主宰、上ノ空はなび。
企画制作:瀬戸内サーカスファクトリー。
共催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

10 京都国立近代美術館｜The National Museum of Modern Art, Kyoto
17:00–21:00(ピデオ・インスタレーション)
19:15(パフォーマンス)

Soldier's Tale / Ronin's Tale
ミックス・メディア・パフォーマンス
ストラヴィンスキーの舞台作品「兵士の物語」100周年を記念した「兵士の物語」上演(30分)と、同作品をモチーフとして作曲家・指揮者のヤニック・パジェが創作する「浪人の物語」初演(30分)。
管楽器・弦楽器・打楽器の七重奏による音楽演奏と、映像・ナレーションのコラボレーションにより、100年の時を経て、ファウスト神話の現代版たる我々の時代の物語を創造します。アレクサンドル・モベール(ヴィラ九条山2012年レジデント)が映像を、作家セバスチャン・レゼーが脚本・ナレーションを、サガール・パテルがプログラミングを担当。演奏は、初出演となるN:So Kyoto。2017年、誰がストラヴィンスキーの兵士になったのか?自身の魂を悪魔に売りたくなる誘惑は、永遠である…
共催:京都国立近代美術館

11 ギャラリー16｜galerie16
12:00–22:00

谷原菜摘子展　方舟は未だ現れない
社会が抱く「闇」を画面上で昇華させ、煌びやかで妖艶な世界を導き出す谷原菜摘子。ベルベット地に油彩やグリッター、ラインストーンなどを用いて描かれる独特な絵画作品。本展では、初期から最新作に至る大型作品を中心に展示します。
展覧会:10/3–10/15(12:00–19:00日曜・最終日は18:00まで)※月休※10/6は22:00まで

© Natsuko Tanihara

12 KUNST ARZT
12:00–22:00

やまもと ひさよ 個展「土偶が私」
縄文土偶をモチーフにしたセルフポートレート作品を展開してきたやまもとひさよの京都初個展です。新作写真、映像作品、床に写真を敷き詰めるインスタレーション、パフォーマンスなどからの構成です。
展覧会:10/3–10/8(12:00–18:00)
※10/6は22:00まで。同日21:00から10分間パフォーマンスあり。

13 ギャラリーモーニング｜Gallery Morning Kyoto
12:00–20:00

長谷川由貴個展「Untold Symbol」
自然に対して抱いてきた「畏れ」の感覚と歴史の中で生まれた「神格化」をテーマに制作。美しいものとして鑑賞されるため植えられた庭先の花との関係性に、現代に溶け込んだ「畏れ」を見いだします。
展覧会:10/3–10/8(12:00–19:00、最終日17:00まで)※10/6は22:00まで

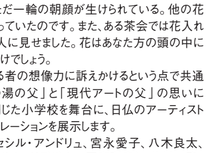
Yuki Hasegawa

14 地下鉄山科駅構内 音の広場
｜Subway Yamashina station OTONOHIROBA
16:00–18:30

サブウェイ・パフォーマー　リレーライブ
日頃、京都市営地下鉄でパフォーマンスを行っているサブウェイ・パフォーマーによるリレーライブ。
出演:大江マサキ、他多数

15 聖ヴィアトール北白川カトリック教会
｜St.Viator Kitashirakawa Catholic Church
16:00–18:00

< Hommage à Cl. Debussy par Gérard Poulet > < Hommage à M. Ooka >
世界的巨匠ジェラール・プーレ(Vn)の父ガストンと作曲家ドビュッシーのピアノによる、世界初演から100年のスペシャルKYOTO記念コンサート。
音楽の近代〜現代&文学詩のモデルニテと「現代百人一首」朗読、音楽×詩×演劇的朗読で本年4月逝去された詩人大岡信の分野を超えた偉大さを偲ぶ。
出演:ジェラール・プーレ、川島余里、市川景之、坪井ユキ、金子文子、ラファエル・ロワゾン　企画:金子文子
協賛:笹川日仏財団、株式会社堀場製作所



COURSE 3

16 元淳風小学校｜Former Junpu Elementary School
12:00–22:00

FUJIMOTO Yuko SILENT/LISTEN (Bench) 2010

Cécile ANDRIEU Silent Stone 2013–2016

MIYANAGA Aiko nakasora -waiting for awakening- 2012 photo by KIMURA Kazuho

Justine EMARD Screencatcher 2015

「見立てと想像力 ―― 千利休とマルセル・デュシャンへのオマージュ」展
今年2017年は、フランス人アーティストのマルセル・デュシャンがレディメイド作品「泉」を発表してから100年目に当たります。デュシャンは、既製品の男性用小便器にこのタイトルを付け、公募展に偽名を使って応募し、意図的にスキャンダルを引き起こしました。この結果、アートの概念は根底から覆され、現代アートが誕生。既製品に意味やメッセージを与えて作品とする「レディメイド」は、多くの作家が採用する手法となりました。
「泉」の約350年前に同様の発想を抱いたのが、茶の湯を完成させた千利休。魚籠や瓢箪を花入れとしたり、釣瓶を水指としたりする「見立て」の手法はレディメイドとよく似ています。様々な趣向を取り入れた茶席の「しつらい」は、今日のインスタレーションの先駆けとも捉えられます。
デュシャンは伝統的な絵画を「網膜にとどまっている」と言って批判し、作品は目だけを喜ばせるのではなく、知性や想像力に訴えかけるべきだと主張しました。一方、利休には有名な「朝顔の茶会」の逸話があります。利休邸に咲き誇っている朝顔の評判を聞きつけた豊臣秀吉が屋敷を訪ねると、庭にはまったく花が見当たらず、茶室にただ一輪の朝顔が生けられている。他の花はすべて利休が摘み取らせてしまっていたのです。また、ある茶会では花入れに水だけを入れ、花を生けずに客人に見せました。花はあなた方の頭の中にある、想像してご覧なさい、というわけでしょう。
あるものを別のものに見立て、観る者の想像力に訴えかけるという点で共通していた利休とデュシャン。「茶の湯の父」と「現代アートの父」の思いに倣い、先ごろ150年近い歴史を閉じた小学校を舞台に、日仏のアーティスト8名が、想像力を刺激するインスタレーションを展示します。
参加アーティスト:藤本由紀夫、セシル・アンドリュ、宮永愛子、八木良太、染谷聡、ジュスティーヌ・エマール(サウンドデザイン:原摩利彦)、井村一登、小松千倫
企画:小崎哲哉
展覧会:10/6–10/22(12:00–19:00)※10/6は22:00まで
トークイベント(入場無料　事前予約不要　先着30名)
10/7　15:00–16:30　藤本由紀夫×セシル・アンドリュ
10/15　15:00–16:30　宮永愛子×八木良太
10/22　15:00–16:30　朝吹真理子(小説家)

17 京都駅ビル 東広場｜KYOTO STATION BUILDING
15:00–20:00

京都駅ビル20周年記念
Nuit Blanche × Le Marché エキビルマルシェ
○ **19:00–19:30　Monochrome Circus+WSメンバーによるパフォーマンス「夕闇ダンスシアター」**
京都を拠点に活躍するコンテンポラリー・ダンス・カンパニー Monochrome Circusが、ニュイ・ブランシュKYOTOのために創作するスペシャル・パフォーマンス。

○ **15:00–20:00　マルシェ**
「食からアートを!」をテーマにしたフランス風のマルシェが、京都駅ビル東広場に登場!産地直送の旬の野菜や果物の他、とっておきの厳選食材や雑貨が並びます。
※「マルシェ」のみ、10/7も開催(10:00–17:00)
(食材等の購入は実費が必要)

18 京都美術工芸大学 京都東山キャンパス 1F 鴨川七条ギャラリー
｜Kyoto University of Arts and Crafts
10:00–22:00

京都で伝統産業にたずさわる匠の技と、パリの気鋭デザイナーとのコラボレーションプロジェクト「京都コンテンポラリー」で生み出された製品を展示します。「彫る」「織る」「回す」など職人の動きをテーマに、様々なバックグラウンドを持つ京都の職人技をご紹介。オープニングでは、京都コンテンポラリープロジェクトに関わるフランス人アドバイザー2名を招聘し、国内外の伝統工芸作家の市場開拓と将来の展望についてレクチャーを行います。
展覧会:10/6–10/29(10:00–18:00※17:30最終入場)
※土日休(10/7、10/28、10/29は開館)※10/6は10:00–22:00

19 MTRL KYOTO（マテリアル京都）
16:00–22:00

photo Massimo Gardone

La Villa Kujoyama investit l'espace MTRL KYOTO
ニュイ・ブランシュKYOTO 2017では、ヴィラ九条山レジデント達が、クリエイティブラウンジMTRL KYOTO(マテリアル京都)のあらゆるスペースを使って、作品を発表します。
まずは、9月16日から始まる小野規とジュリアン・ギナンによる写真展、ロールリーヌ・ガリオとマチュー・ペイルレーギリニのデザイン/グラフィックデザイン展、バティスト・イモネとヴァンサン・ジュソームの作品展を御覧頂き、ニュイ・ブランシュ当日は、華道家 片桐功敦によるパフォーマンスで幕を開け、振付家ミレーヌ・ブノワや演出家トマ・ブーヴェ、作曲家フレデリック・ブロンディ(出演マルグリット・ランツ)によるパフォーマンスや、アンジェラ・デタニコとラファエルラインの映像とダンサー松本芽紅見のコラボレーションもお楽しみ下さい。テーマ「ランドスケープ×ムーヴメント」に合わせた、唯一無二のプログラムで、クリエーターの世界を御覧頂きます。
展覧会:9/16–10/9(平日11:00–22:00/土日祝11:00–19:00)
※MTRL KYOTOの営業日時に従う※ニュイ・ブランシュKYOTO当日以外、観覧には1オーダー必要※当日プログラムは、サイトをご覧下さい。

20 galleryMain
13:00–22:30

CITYRAT press ×「零ルンです」
写真集出版レーベルのCITYRAT pressの若手写真家達が"写ルンです"で撮り下ろした作品を発表します。写ルンですならではによる、それぞれのテーマを設定し、作品を作り上げます。デジタル全盛期にあえて手軽な機材を使用することで見えてくるものを捉えたグループ展示。参加作家は、横山隆平、中澤有基、カワトウ、木村華子、優子、藤尾恭平、いぬ。
展覧会:10/5–10/9※会期中無休

21 Lumen gallery
19:00–22:00

大谷健太郎監督 フィルム映画特集
1977年にスタートしたPFF(ぴあフィルムフェスティバル)アワードは映画監督になるための登竜門でした。大谷健太郎は1988年に脚本、監督、主演した自主制作8mm映画「青緑」で審査員を唸らせ2つの賞を獲得。1991年にも「私と他人になった彼は」が3つの賞を獲得しました。1998年にはメジャーデビューを果たしています。今回はその劇場未公開の初期8mm作品2本と、35mmフィルムによる劇場デビュー作「アベック モン マリ(私の夫と一緒に)」を上映。中でも注目は恋愛映画「青緑」。デジタル化されていない貴重なオリジナル8mmフィルムをスクリーンに映写します。
展覧会:10/6–10/9

COURSE 4

22 ギャラリー知｜GALLERY TOMO
19:00–22:00

近藤大祐+京都造形芸術大学プラスプロジェクト プレビュー
京都造形芸術大学大学院に所属するアーティスト近藤大祐の作品紹介と、翌月開催する同大学国際交流プロジェクト展示のプレビューを横断的にミックスするレセプションを予定。
展覧会:10/3–10/8(12:00–19:00)

© GALLERYTOMO

23 清課堂｜SEIKADO
10:00–22:00

児玉幸子展　「眩惑について」
液体金属とも言える磁性流体とデジタルメディアを融合したアートの第一人者、児玉幸子の展覧会「眩惑について」を開催。本展で児玉は、素材と光と動きによる「眩惑」について探求します。光のコントラスト、輝度、明度、テクスチャーの細かさ、ランダムさ、重力と磁力のバランスをコントロールし、長年手がけてきた、独創的な手法で磁性流体という素材の力を最大限引きだし、造形と知覚の変化を創発するメディアアートの新たな地平を出現させます。本展は仏人キュレーター、モーリス・スロティヌ氏から児玉幸子をご紹介いただき実現した展覧会になります。
展覧会:10/6–11/26(10:00–18:00)会期中無休※10/6は22:00まで

© Sachiko Kodama Studio

24 ARTZONE
12:30–翌朝06:00

京都造形芸術大学アートプロデュース学科が運営するARTZONEでは、前田耕平と宮坂直樹による文化機関Midnight Museumとの共同企画展「Exercise for Death」を開催します。本展では、Nuit Blancheが開催される京都、パリ、ブリュッセルといった都市で活動する6人のアーティストが、死の練習としての睡眠を手がかりとした作品を展示します。

25 同時代ギャラリー｜DOHJIDAI GALLERY of ART
12:00–22:00

ヤマゲンイワオ作品展 "Second Park"
生命をテーマに、身近にある物や動物をモチーフにした木版画の版木を組み合わせた立体とプリントした紙を合わせて空間を構成します。
新谷聡子 陶展
私が感じる「今」を、ガラスの薬瓶や古びたモチーフをヒントに陶磁器に変えて、「器」として生まれ変わらせたいと思います。
展覧会:10/3–10/8(12:00–19:00)※10/6は22:00、10/8は18:00まで

ヤマゲンイワオ 2015年スパークプラス展示風景

26 アバンギルド｜UrBANGUILD
19:00–23:00

○ **19:30　今村達紀(ダンス)**
○ **20:15　シェハタイル・ンバイ(アフリカンパーカッション)＋ニイ・ユミコ(ダンス)**
○ **21:00「Butoh-Kami, dance-drawing」田中誠司(舞踏)×マリー・ドゥルエ(美術)**
異なる文化と表現方法を持つ二人が、互いの一瞬一瞬に耳を澄まし、触発され、引き合い、ぶつかり、離れ、変容していく。肉体とドローイングの真剣勝負。一体そこに何が生まれるのか? 感覚、知覚、感情、衝動によって創造されるスリリングな空間世界を共に体験してください。
協賛:アンスティチュ・フランセ パリ本部 + ナント市

27 スフェラ｜Sfera
18:00–22:00(フード提供は20:00–22:00のみ)

Slow Green -wild orchids- by Green Wise × Sfera
メインインスタレーションとして、神祇工芸による鏡のオブジェが映しだす灯火によって、無数の原種蘭が、ほのかに照らし出され、闇の中に広がる世界を音や手触り、香りなど、五感全体で味わう空間を創出。味覚によってインスタレーションの世界観を体感するフィンガーフードもお楽しみいただけます。
また、原種蘭とそれを見立てるために生み出された陶・金属・木などの素材によるコンテンポラリークラフトの器の展示も行います。自然の造形と人の手仕事が生み出す造形とがひとつとなった風景をお楽しみください。
コラボレーター:GREEN WISE、眞城成男(Sfera)、梶山葉月(フードコーディネーター)
展覧会:10/6–10/22(11:00–19:00)※水休※10/6は22:00まで

Shigeo Mashiro

28 ギャラリーマロニエ｜Gallery Maronie
12:00–21:00

いとから展
織、ニット、フェルト、ファイバーアートなど、一本の糸から紡がれる豊かな世界を概観。京都精華大学テキスタイルコース出身のテキスタイルアーティスト及び学生17名と教員1名で構成。
展覧会:10/3–10/8(12:00–19:00)
※10/6は21:00まで

© Kanae Tsutsumi / photo by Toru Imanishi

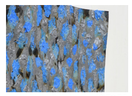
29 ギャラリーギャラリー｜GALLERY GALLERY
12:00–20:00

村山順子個展「ケモノのキモノ」
織りによるインスタレーション:布と毛皮の二つのイメージを織り着尺の上にあわせた「ケモノのキモノ」シリーズ。EXでは、駿谷嘉孝 / Yoshitaka SURUTANI 個展(刺繍)を同時開催。
展覧会:9/23–10/7(12:00–19:00)※木休※10/6は20:00まで

© Yoriko MURAYAMA

30 eN arts
15:00–21:00

田中真吾個展
一貫して「火」を題材、メディアとして用いながら、立体・写真・平面と幅広い切り口で存在感ある作品を発表し続ける田中真吾による展示。
展覧会:9/1–9/30(12:00–18:00)
※金土日のみ開廊


© 田中 真吾

香老舗 松栄堂による香りの演出
会場:アンスティチュ・フランセ関西、京都芸術センター、元淳風小学校

Nuit Blanche After Party Program 2017
31 FORUM KYOTO
22:00–深夜01:00
32 CLUB METRO
23:00–翌朝05:00
入場無料(両会場共にドリンク代別途500円要)
全国、世界で活躍する最先端のDJ、プロデューサー、現代アート作家のラインナップを早朝まで体感。

※京都国際マンガミュージアム会場、アンスティチュ・フランセ関西会場にお越しの先着2000名様に、ラコステの素敵なエコバッグを差し上げます!(2会場合計、おひとり様1つ限り)